

高齢者の生活を支援する 情報が確認できます



南国市では、高齢者が地域で在宅生活を続けるために活用できる介護サービスや公的な支援制度以外のサービスを収集し、**Ayamu** (地域資源情報管理システム) で住民、支援者の方が活用できる情報を提供しています。詳細は、下記二次元コードからご確認ください。

周辺の介護・地域資源などに係るサービスを
リストとマップで一覧表示し、詳細情報も確認できます。

活動・サービスの一覧(リスト・マップ)

サービスの詳細



たとえば、こんな時に使えるよね

- ・近くの体操教室がどこにあるか知りたい
- ・南国市内の介護施設について知りたい
- ・災害時の避難場所を調べておきたい



活用してみてや〜



「エンディングノート」を配布しています

自分の望む人生を最期まで自分らしく生きるため、テーマに沿って書き進めていくことで、自分の思いを整理できるようになっています。

このノートをきっかけに自分の考えをまとめたり、ご家族に自分の想いを伝えたりしてみてください。

■配布場所／長寿支援課窓口、地域交流センターみあーれ、図書館、保健福祉センター、地域包括支援センター

※右記二次元コードからエンディングノートを取得できます。

※令和8年度「エンディングノート」は、株式会社鎌倉新書と協働発行しています。



■問い合わせ／長寿支援課介護保険係 ☎088-880-6556

祝百寿

長寿訪問

南国市在住の
100歳以上の方は
男性12名 女性59名です。
(10月1日時点)

9月15日は老人の日と定められており、今年100歳を迎えられました皆様へ内閣総理大臣からお祝い状と銀杯、市と社会福祉協議会からは記念品を送りました。また今回、4名の方にお会いし、貴重な体験談や素敵な笑顔を見ることができ、こちらも元気をいただきました。これからもお元気でお過ごしください!

老人の日って敬老の日とどう違うの?

【敬老の日】老人に敬意を示す日本の祝日 【老人の日】老人福祉の関心を深める記念日

とされており国の事業としては9月15日の老人の日を基準として100歳の方のお祝いをさせてもらっています。



井上 良廣 さん

ケアハウス白山荘に入所中の井上さん。訪問の日は、敬老の日のイベントが開催され、入所者のみなさんと一緒に井上さんの100歳をお祝いしました。

井上さんは、ご家族や施設職員の方へ日頃の感謝の気持ちを伝えられています。



清水 延喜 さん

在宅で生活されている清水さんは、たくさんのご家族から誕生日のお祝いをしてもらったと写真を見せてくれました。その際の嬉しかった様子や今まで歩んできた思い出を色々とお話いただきました。

また、「かかりつけの先生からもまだまだ健康で元気だと言われた」と嬉しそうに教えてくれました。



中村 静 さん

在宅で生活されている中村さん。食べ物の好き嫌いもなく、「娘さんが作ってくれるバランスの良いごはんが一番おいしい!」とお話をしていていました。娘さんも嬉しそうにされており、場が和みました。

「集いの場に行くと、みんなが声をかけてくれるき、嬉しい」と話をしてくださいました。また、娘さんが実際に見に行かれたオーロラの写真を見せていただきました。



小笠原 三恵子 さん

在宅で生活されている小笠原さんは、なんと10人兄弟とのこと! 足腰が丈夫な秘訣は「幼いころから家業のお手伝いをしていたからやろうか。」と生まれ育った家の思い出話を聞かせていただきました。

テレビを見ることが趣味でアジア大会もチェックしていると楽しくお話をしてくれました。